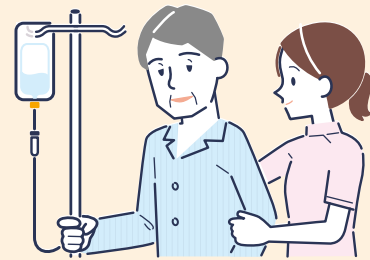


## 1 | 転倒・転落の予防

- 入院されると、生活環境が大きく変わります。病気やけがにより体力の低下や筋力の低下から予想以上に転びやすい状況になります。転倒・転落予防に細心の注意を払っていますが、それでも完全に防止できず状況によっては骨折や命に関わることもあります。患者さんはもとよりご家族も含めて、転倒・転落の予防についてご協力をお願いします。

### こんな時は要注意!!

- 寝起きまもなく、ぼんやりしている
- 眠り薬を飲んだ
- リハビリが進み、歩き始めたとき
- 環境が変わって3日間くらい



### \* 転倒・転落の予防策

- 入院中のベッド周囲の荷物は最小限にし、収納棚などに収まるように収納しましょう。
- 床頭台やオーバーテーブルはストッパーをかけましょう。
- 一人で歩くのが不安なとき(点滴や管が挿入されているときなど)は**ナースコールで遠慮なくお知らせください。**
- 杖は使い慣れたものをお使いください。
- 安全のため、履き物は普段から使い慣れた**ゴム底の靴タイプ**のものをお履きください(P.6)。
- 転倒・転落の予防策のひとつとして、患者さんの状況により離床センサーなどの機器類を使用させていただくことがあります。



離床センサーの例

### MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

## 2 | せん妄について

- 「せん妄」とは、手術後などの体調の変化により起こる強い寝ぼけのような意識が混乱する症状で、一部の患者さんに見られます。多くの方は、治療により回復します。

### せん妄の原因

- 体調が悪い
- 手術の後
- 新しい薬が身体に合わない など



### せん妄のときの症状

- 時間や場所の感覚が鈍くなる
- 幻覚が見える（天井がゆがんで見えるなど）
- 睡眠のリズムが崩れる（昼と夜が逆転するなど）
- 落ちつきがなくなる
- 話していることをつじつまが合わない
- 荒っぽくなったり、怒りっぽくなる
- 治療のための管を抜いてしまう など

強い寝ぼけのような  
症状があります。



- 「せん妄になりやすい人」は、高齢の方や物忘れが目立ってきた方、脳梗塞などの病歴がある方、アルコールをたくさん飲む習慣がある方などです。

\*せん妄の予防や評価のために医療者は以下のようなことを確認します。

夜眠れて  
いるか

寝る時間が不規則になり、夜に眠れないなど。

幻覚が  
ないか

普段見えないものが見えたりすることがあります。

話のつじつまが  
合っているか

意識が混乱しておかしな言動をとることがあります。

日付や  
場所の確認、  
簡単な  
計算など

記憶力や判断力、集中力が低下することがあります。





## 4 | 感染予防について

- 当院では院内感染を防止し、安全かつ適切な医療を提供するため、感染予防の徹底に努めています。患者さんも感染症をうつさない、うつらないための感染予防にご協力ください。

### ○ ベッド周囲の環境

清潔な環境が維持できるように床や窓際のスペースに荷物を置かないようにしましょう。荷物はロッカーに収納しましょう。



### ○ 咳エチケット

咳症状のある方は、マスクの着用をお願いいたします。



### ○ 手指消毒

病室に入る前および病室を出た後は、病室入口に設置してある消毒剤で手指消毒を行ってください。

### 正しい手指消毒の手順



1 ポンプを下まで押し切り、消毒液の泡を手に取ります。



2 両手の裏表にムラなく、しっかりと泡をすりこみます。



3 泡が消え、手が乾くまで揉みこみます（消毒後手を洗う必要はありません）。

各病室に入退室される際に必ず手指の消毒を行ってください。

### 職員の手指衛生について

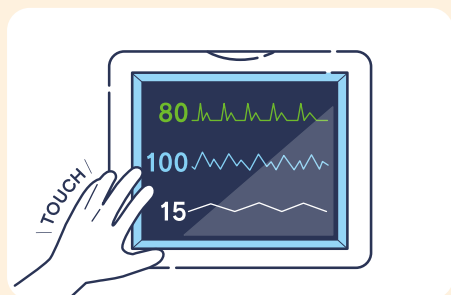
私たちは患者さんと接する前後に、手指の消毒を行っています。



① 患者さんに触れる前



② 注射などの清潔/無菌操作の前



③ 患者さんの周辺の物品に触れた後



④ 体液に触れた可能性がある時



⑤ 患者さんに触れた後



M E M O

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....